

5月14日

市長が生出演で「寝屋川モデル」をPR

ABEMA Prime

5月14日放送のインターネットテレビ局・ABEMA「変わる報道番組#アベプラ」に広瀬市長がリモート生出演しました。

全国の自治体でワクチン接種が進む中で“抜け駆け接種”などの問題点が浮上。一体何が問題なのかをワクチン接種の最前線にいる現役の市長、医師らとともに議論しました。

放送中、ワクチン接種の優先順位を“見える化”した「寝屋川モデル」が紹介されると、論破王として人気の「2ちゃんねる」開設者のひろゆきさんらに広瀬市長が「市民を不安にさせないことが重要」など寝屋川モデルの意義を説明。新型コロナ治療の最前線に立つ医師からは「準備していることがまず素晴らしいし、中身も素晴らしい」と評価されました。

成功自治体に学ぶ「ワクチン接種と廃棄対策」



寝屋川市独自の 接種ゲージグラフ

ワクチンの供給量
に応じて、65歳
以上を細かく分類



▲放送イメージ

5月25日

独自のモデルで 見える化した自治体

テレ朝ニュース

ワクチンの優先接種の問題に対し、独自のモデルで見える化した事例として寝屋川市の取り組みが紹介されました。クラスター発生率の高い高齢者施設などを最優先とし、ワクチンの供給量に応じて65歳以上を細かく分類するなど、市独自の順位設定が取り上げられました。

6月4日

市民目線のコロナ対策 ＝「寝屋川モデル」

産経新聞 朝刊

濃厚接触者や感染が疑われる人など「自宅待機」をする人に3食分の食事を自宅まで配達する「配食サービス」を始めとした、「寝屋川モデル」の新型コロナ対策が、カラーで大きく紙面に取り上げられました。

自宅待機者に味なサービス



接種順位、情報公開…
市民守る



バイクで配達

行政と一緒に

「ねやがわモデル」
非接触で家族分も配食

配食サービス
メニュー例
●月●日 ●月●日
昼食 昼食
夕食 夕食
翌朝 翌朝

▶紙面イメージ

産経新聞

定期的にPCR検査 教職員、保育士ら対象

ほか、読売新聞にも！



読売新聞

陽性者の家族に客室貸与 寝屋川市開始 医療者、介護職員にも

ほか、産経新聞にも！